

平成29年度 事業計画

(H29.4.1～H30.3.31)

1. 服飾教育に関する調査研究

服飾（和裁・洋裁・編物・色彩）教育の振興・発展のために、日本の服飾教育に関する研究並びに服飾に関する関心度の調査、服飾に関する伝承継承についての調査研究を行う。

- (1) 文部科学省後援色彩検定に対する受験校の状況調査
- (2) 日本の民族衣装である和服に対する種々の研究と後世に伝えるべき特殊技術の指導方法並びに今後外国に向けての紹介
- (3) 日本の服飾教育全般における現在と今後の状況調査
- (4) 服飾に関する日本の伝統的な染色と文化についての調査及び研究

2. 和裁・洋裁・編物及び色彩の教育に関する研究、講習会の開催

(1) 全国色彩コーディネイトコンクール

- ・ ファッション部門
- ・ ポスター部門

対象：協会会員（正会員・講師会員・準会員）・一般

ファッション部門とポスター部門に分けて全国色彩コーディネイトコンクールを開催する。平成29年10月に応募要項をHPに掲載、チラシを配布し、1次、2次審査後、文部科学大臣賞、読売新聞社賞、毎日新聞社賞、毎日放送賞、色彩検定協会特別賞、色彩検定協会賞等を平成30年1月に決定する。文部科学大臣賞の受賞者には賞状と記念品、色彩検定協会特別賞、読売新聞社賞、毎日新聞社賞、毎日放送賞（ポスター部門のみ）の受賞者には賞状と賞金、他の受賞者には賞状を送付する。

(2) 生徒作品コンクール

対象：協会会員

服飾指導者並びにそれをめざしている者の人格及び技術向上のために作品コンクールを開催し、将来の服飾指導者育成を目的として各認可校において学院長が審査員となり、入賞作品を決定する。

(3) A・F・T色彩セミナー

対象：協会会員・一般

時期：7月・2月頃

テーマ：色彩関係

場所：東日本・西日本

講師：色彩関係者

参加者：1回約50名

(4) 文部科学省認定「たのしく学ぶ色彩講座・初級コース」（通信教育）

対象：一般

講 師：色彩関係者他

受講者：約300名

(5) カラーイメージコーディネーターセミナー

対 象：検定試験1級～3級取得者

時 期：5月～10月

テーマ：色彩関係

場 所：東日本・西日本

講 師：色彩関係者及び大学教授

参加者：約30名

3. 服飾に関する機関紙の発行

機関紙「A・F・Tジャーナル」の発行

4月 A・F・TジャーナルVOL. 63の発行 4,000部

8月 A・F・TジャーナルVOL. 64の発行 4,000部

11月 A・F・TジャーナルVOL. 65の発行 4,000部

協会会員・検定試験受験団体校に配布

4. 和裁・洋裁・編物・講師資格等の認定

服飾指導者の養成及び技術の向上を目的に各学院、研究所等より申請のあったものに対し、各証書を発行し、資格を認定する。

本科修了証・研究科修了証・高等科修了証・師範科修了証

技能資格1級～3級・講師資格証・服飾教員1級・表彰状

5. 服飾教育及び色彩知識等に関する色彩検定の実施とそれに関する諸事業

(1) 文部科学省後援「色彩検定」1級～3級 試験実施

実施日：1回目 6月 — 2・3級

2回目 11月 — 1・2・3級

12月 — 1級のみ2次試験

会 場：全国各地

受験申込者数： 1級 1,760名

2級 11,100名

3級 24,100名

(2) 検定試験成績優秀団体及び成績優秀者の表彰

対象：平成29年度「色彩検定」試験1級、2級、3級の合格者及び団体校色彩に関するより広く正しい知識を身に付けていただき、その努力をたたえ、習得した能力及び技術に対し、成績優秀な個人と団体に、文部科学大臣賞

(個人・団体)、優秀団体賞、優秀賞(個人)、色彩検定奨励賞(個人・団体)等を平成30年1月に決定する。文部科学大臣賞(個人・団体)、優秀団体賞には賞状と記念品、他の受賞者には賞状を送付する。

6. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 文部科学省後援「色彩検定」試験宣伝活動

- ① ポスター、ガイドなど製作
- ② HP、雑誌に掲載
- ③ 車内吊り広告等
- ④ 検定紹介動画の制作
- ⑤ サブサイトの制作
- ⑥ メルマガの制作、配信

(2) ニューヨークオフィスの運営

- ① 海外色彩情報の収集
- ② AFTジャーナル、「ワールド・エクスプレス」紙面の作成

(3) 「伝統文化と色彩研究会」設置

- ・ 生涯学習の一環として、伝統文化（衣・食・住）の研究、調査